

各形式段落の内容を簡単に要約しておきます（これはあくまで解答例ですので、大体的内容が取れていれば、この通りでなくてもかまいません）。

- ①お正月に、仲間と一緒にT君という研究者から「はやぶさ」プロジェクトの説明を聞いた。わずか十分間くらいで全員が内容をはっきり理解でき、その説明のうまさに驚嘆した。
- ②この説明能力の高さは国民的な理解と支援が必要な巨大プロジェクトのメンバーだからである。最先端の仕事は協働的なものであるから、多様な人たちすべてに話が通じるよう、忍耐強く、適切な言葉で、わかりやすく語るようになるのだ。
- ③T君の話聞いてこのプロジェクトを支援したくなった。それは、これが人類のためになることだということに彼らが確信できているからだ。

- ④自分の利益のためにしゃべっている言葉は、自分にとって得になる人間にだけ向けられた言葉なので、他の人間にとっては説得力がない。

※この段落は内容を正確にとる必要がありますが、わかりましたか？

- ⑤僕はそれを「内向きの言葉」と言っている。それはどうしても知性の本質とは相いれないような気がする。

※ここはもう、これ以上は短くはできないでしょう。ただ…「知性」とはどのようなものか、理解できるでしょうか？

- ⑥逆に「外に向く言葉」は、できるだけ多くの人に受信され、理解されることを目的としている。

- ⑦僕は、「外向きの言葉」でなくては相手を動かさないと。心から相手に理解してほしいと願う言葉だけが「外に向かう」ことができる。

- ⑧言葉には「届く言葉」と「届かない言葉」がある。言葉が届くかどうかは修辞や論理とは関係ない。

- ⑨言葉が届くかどうかは、そこに発信者の必死さがあるかどうかである。